

平成31年度 尾野見小学校の教育（経営方針）

1 学校経営の基本理念と経営方針

公教育の理念と家庭や地域・児童の実態を踏まえ、尾野見小の校風の創造的継承を図りながら、児童の基本的人権を大切に、自立と共生の心を育む調和のとれた教育実践を通して、活力のある教育を推進する。

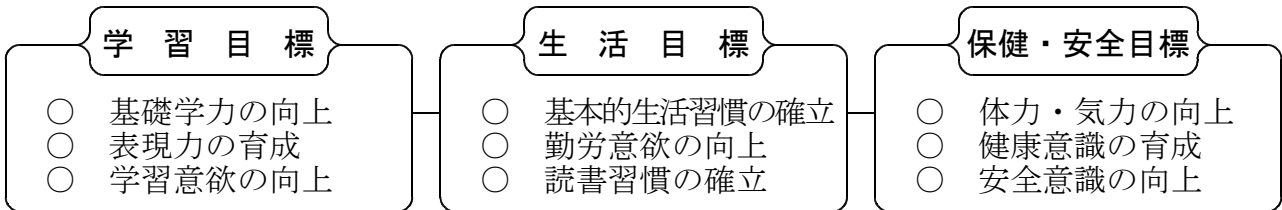
- 1 「学校は地域の宝物」の認識の下、校風及び地域の特色・願いを生かした社会に開かれた学校を創る。
- 2 職員の協働を大切に、「みんなで創る尾野見小学校」を合言葉に、学校組織の機能化・充実を図る。
- 3 教育課程全体を通して、知・徳・体にわたる「生きる力」(①生きて働く「知識・技能」 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」)を育成する。
- 4 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、確かな学力の育成を図る。
- 5 率先垂範・師弟同行を信条に、明るく潤いのある教育環境の整備を進める。
- 6 家庭・地域、保育園・中学校との連携を充実させ、教育活動の充実・深化を図る。

2 校訓・学校教育目標

【校訓】 明るく 強く正しく 健やかに

【学校教育目標】 よりよい社会の創り手となる生きる力をもったおのみっ子を育てる

3 三大目標



4 めざす姿

【キャッチフレーズ】 おもいやり 花と緑の 尾野見小

【めざす児童像】

- 自ら気づき、考え、協力して課題を解決するおのみっ子 (知育)
- 読書に親しみ、よく働き、思いやりの心をもったおのみっ子 (徳育)
- 進んで運動に親しみ、健康で安全な生活を実践できるおのみっ子 (体育)
- 学校や地域に誇りをもつおのみっ子

【めざす学校像】

- 組織が機能し、活力のある学校
(みんなで創る尾野見小学校)
- 地域に開かれ、地域と共にある学校
(学校は地域の宝物)

【めざす職員像】

- 厳しさと慈しみをもった職員
- 真摯に研鑽を積む職員
- 保護者、地域に信頼される職員
- 地域に学ぶ職員

【めざす家庭像】

- 家族愛に満ちた温かい家庭
- 学校と連携し、子どもを伸ばす家庭

【めざす地域像】

- 先人の知恵やよさを伝える地域
- 学校と同じ目標を共有し、補い支える地域

5 重点目標

I 自立と共生の心を育む教育活動の充実

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善による確かな学力の育成
- 自主的、実践的な集団活動を通して自信や自己肯定感を育む特別活動の充実
- 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めさせる道徳教育の充実
- 体験活動、体育・健康に関する指導の充実による豊かな心や健やかな体の育成
- ふるさとを知り、ふるさとと関わる体験活動の充実

II 教育活動のさらなる充実のための家庭・地域及び保育園・中学校との連携（熟議・協働）

III 職員一丸となった学校組織の機能化・充実（チーム尾野見）

6 努力点と具体的方策

	努力点	具体的方策
I 自立と共生の心を育む教育活動の充実	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善による確かな学力の育成 確かな学力とは… 1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得 2 思考力、判断力、表現力等の育成 3 言語能力の育成 4 学びに向かう力・人間性等の涵養 5 学習習慣の確立	(1) 分かる授業のための「共通実践事項」【大隅終末ベーシックの推進】 ア 学習のめあてとまとめの板書【板書によるまとめを確実に進行】 ○ 終末から授業をデザイン【市の「きりり輝く三つの教え」】 ○ めあては学習問題化した疑問符が付けられる形 ○ めあてとまとめ（めあての答え）の「整合性」 ○ まとめが、児童から導き出されるような学習問題の設定 イ 子ども同士の練り上げの場の設定【練り合い・深め合う場の工夫】 ○ 一人一人の「考える時間」と「質問する時間」の設定【自力解決】 ○ 認め合い、学び合い、教え合い、高め合う場（ペア、グループ学習）の設定 ○ 深く考え、判断し、表現する場、暗唱の場の設定《確かな変容》 ○ 「確かな読み」と「読み取り」指導及び音読の場の設定 ウ 習熟の時間を設定【練習問題で確かめる】 ○ 個人差に対応した指導（習熟の程度に応じた発展・補充問題を準備） エ 家庭での学習時間の確保【次時につながる復習・予習で磨く】 ○ させるべきことは、必ずやり遂げさせるしつけの徹底 ○ 学年に応じた家庭学習時間の確保【家庭学習 60・90 運動】 ○ 「音読カード」の改善と継続的活用【家読の勧め】 ○ 「家庭学習の手引き」の改善と効果的活用 (2) ICTの効果的活用を図り、学習内容の定着率を高めるために単元テスト等を反復活用する。《※ PCやタブレットの有効活用を図る》 (3) 校内研修及び個人研修の充実【自己研鑽に努め力量を高める】 (4) 学力検査等や漢字力・計算力テスト等の分析と有効活用 (5) 特別な支援の必要な児童への個に応じた指導の充実(T・T指導の工夫)
	自主的、実践的な集団活動を通して自信や自己肯定感を育む特別活動の充実	(1) 学校行事の充実（PDCAサイクルの活用→よりよい改善への努力） ア 行事のねらいを明確にし、目標をもたせる事前指導の充実 イ 自己の達成感を確認する事後指導の充実【※ 個性の伸長】 (2) 児童の主体的活動の推進（見届け・賞賛）→リーダーシップの育成 ア 児童会、係・委員会、学級活動 イ 縦割り班活動（おのみんピック、緑化・清掃、集会活動等）
	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えさせる道徳教育の充実	(1) 道徳の授業の充実（教育活動全体を通じた道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度の育成） ア 思いやり・親切 イ 生命尊重（感謝の心） (2) 【めざす児童像】に対する自己評価の継続実施 ※ 教科化に向けた研修の充実
	体験活動や体育・健康に関する指導の充実による豊かな心や健やかな体の育成	(1) おのみっ子俳句指導の充実や教育環境の整備 ※（作品展投稿の推進） (2) 個の体力・運動能力の伸びを目指す体育指導の充実と計画的・自主的な体力づくりの推進【一校一運動の推進→縄跳び・持久走の継続】 (3) 安全指導の充実と自力登校の促進（おのみふれ合いロードの活用・推進） (4) あいさつ運動及びボランティア活動の推進
	ふるさとを知り、関わる体験活動の充実	(1) 地域の自然や人材（高齢者・消防団・公民館等）を生かした学習の充実 (2) ふるさとづくり委員会等との積極的な連携
II 教育活動のさらなる充実のための家庭・地域及び保育園・中学校との連携	(1) 保護者との信頼関係の構築と教育相談の充実 (2) 基本的生活習慣や学習習慣の定着を促す場（通信、PTA等）の充実 (3) 保育園や中学校との連携の場や情報交換の充実【保小連携、小中連携】 (4) 地域との目標の共有と熟議・協働による参画、及びマネジメント力の強化（コミュニティースクール）	
III 職員一丸となった学校組織の機能化・充実	(1) 各種委員会の実施と活性化、協議事項の共通実践（同一方向性、組織力） (2) 目標と進捗状況の学期毎の確認	